

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	家庭教育学級開設事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	茅根 政雄			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	01	家庭教育学級開設事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>									
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭の教育力の向上を図る。市立保育所、幼稚園、小中学校及び保護者を対象に、24学級を開設し、年間5～7回程度の学習(学級毎)と、合同学習会を年2回開催する。【学級内訳】市立保育所2。幼稚園6。小学校11。中学校5					【業務内容】 ・学級開設の指導 ・合同学習会の企画、開催 ・運営補助金の交付に伴う事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)										
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者		・市立保育園、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者				人	5,124	5,022	4,997	4,900	4,900	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催		説明会の開催回数				回	1	1	1	1	1	
		開設した学級数				学級	24	24	23	22	22	
		合同学習会の開催回数				回	2	3	3	3	3	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)										
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭の教育力の向上につなげる。		学級講座に参加した者の延べ人数				人	6,651	6,600	6,000	6,000	6,000	
		講座の開催回数				回	134	166	150	140	140	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,012	1,959	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	事業費計(A)	千円	2,012	1,959	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
人件費	千円	1,332	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630		
正規職員		1.80人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	1,332	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630		
投入量(A)+(B)		千円	3,344	3,589	3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	3,630		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも行うことで、子供の親に対する見方、考え方、親と子供の接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だけれども、実施して振り返ってみると大変有意義であったし、よい経験になったとの声を聞く										



評価対象年度	平成25年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	イベント・行事・各種講座教室等			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G		記入者氏名	茅根 政雄			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第1章 市民との協働のまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 市民との協働によるまちづくりを推進する						
	基本事業名		2 市民活動への支援と連携						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	01	成人式開催事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
					(開始年度 年度～)		( 年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。【会場】・平成22年度 センチュリー・プラザ ・平成23年度 中央公民館 ・平成24～25年度 那珂総合公園 ・平成26年度 那珂総合公園(予定)					当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の検討や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移

単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等								
④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
その年度に二十歳になる新成人	成人者数	人	572	565	530	520	520	
②手段(具体的な事務事業のやり方)								
⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催	・式典の開催	実行委員募集通知の発送件数(次年度成人者も募集)	通	1,066	1,086	1,050	1,040	1,040
		実行委員会の開催数	回	8	8	8	8	8
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)								
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。	成人式に参加した割合	%	76.7	78.1	80.0	80.0	80.0	

(2) 投入量の推移

単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画			
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	財源	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,000	2,231	2,300	2,487	2,487	0	
事業費計(A)	千円	2,000	2,231	2,300	2,487	2,487	0		
人件費	千円	1,346	1,80人	2,482	0.46人	2,482	0.46人	2,482	0.46人
正規職員	千円	180	0.10人	180	0.10人	180	0.10人	180	0.10人
正規外職員	千円	1,526	2,662	2,662	2,662	2,662	2,662		
人件費計(B)	千円	1,526	2,662	2,662	2,662	2,662	2,662		
投入量(A)+(B)	千円	3,526	4,893	4,962	5,149	5,149			

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	国民的な行事であり、成人の健やかな心身の成長と、社会人としての門出を祝福するため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	那珂市においても少子高齢化が進行している。さらに、進学・就職等により市外へ移住する成人者が多くなっている。将来に向けてまちの活力を維持するためにも、若い世代の定住を促す取り組みが必要となっている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	一部の市民から、昨今の市の財政状況を憂慮して、貴重な財源を使うことについて、反対の意見が寄せられている。一方で、行政による成人式の開催は当然のことと思われる。



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	各種団体補助事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G			記入者氏名	茅根 政雄		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名		2 生涯学習活動の支援						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	01	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
						(開始年度 年度～)		( 年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。					【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
文化協会及び市民			人口			人	55,853	55,986	55,887	55,500	55,300	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
文化振興事業・講座・文化祭の開催			文化振興事業・講座数			事業	13	13	10	10	10	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進			文化協会加入数			人	1,025	981	950	950	950	
			文化振興事業・講座・文化祭への参加者数			人	9,596	3,798	4,500	4,500	4,500	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源 支 出 金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方 債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 財 源	千円	5,085	4,585	4,885	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585	
	事 業 費 計 (A)	千円	5,085	4,585	4,885	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585	
人 件 費	正 規 職 員	千円	1,008	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	
	正 規 外 職 員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人 件 費 計 (B)	千円	1,008	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	2,956	
	投入量(A)+(B)	千円	6,093	7,541	7,841	7,541	7,541	7,541	7,541	7,541	7,541	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図る。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			協会全体で高齢化が進んでいる。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			なし									



評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	青少年相談員設置事業					事業類型	相談・指導		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	茅根 政雄			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市青少年相談員設置規則	
			09	05	03	青少年相談員設置事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			( 年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
1 青少年の実態の把握し、青少年の問題等に関わる相談に応じ、その解決に努める。 2 青少年相談員としての自己研鑽に努める。 3 青少年にとって健全な環境づくりのため、環境浄の推進に努める。 4 関係各機関・諸団体との連携を図りながら、青少年のよき理解者となるよう努める。					年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年相談員としての資質の向上に努める。				
1 現状把握の部(DOシート)									

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂市青少年相談員	那珂市青少年相談員数	人	46	47	47	47	47
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
青少年健全育成に向けた街頭活動や情報交換、並びに、研修会への参加を通して、青少年の健全育成の推進と自己研鑽に努める。	那珂市青少年相談員定数	人	47	47	47	47	47
	健全育成活動実施回数	回	15	15	15	15	15
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
青少年相談員活動及び研修を通して、相談員の資質向上と青少年を育成するための環境の向上を図る。	積極的に青少年育成活動に参加している相談員人数	人	1,600	1,531	1,500	1,500	1,500
	不良行為少年補導件数	件	79	80	80	80	80
	青少年団体会員数	人	2,171	2,024	1,642	1,600	1,600
	青少年団体加入率(子ども会)	%	73.0	69.0	57.0	60.0	60.0
(2)投入量の推移	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,318	4,132	4,300	4,300	4,300
	事業費計(A)	千円	4,318	4,132	4,300	4,300	4,300
人件費	千円	2,100	2,400	2,400	2,400	2,400	
正規職員		0.30人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
正規外職員	千円	780	780	780	780	780	
		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
人件費計(B)	千円	2,880	3,180	3,180	3,180	3,180	
投入量(A)+(B)	千円	7,198	7,312	7,480	7,480	7,480	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	青少年の健全育成は地域ぐるみで進めようという趣旨のもとに、昭和40年8月に11人の青少年相談員が委嘱され、青少年のよき相談相手として、青少年の健全育成活動が始まった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子高齢化・都市化により地域コミュニケーションが希薄化している。地域において子どもを守る活動が活発化するなど子どもの安全に関心が深まる一方で、携帯などによる有害情報の蔓延や人との交流を避ける傾向						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	青少年相談委員からは、青少年を温かく見守り育てるためには、各地区まちづくり委員会を始めとする地域の方々の協力体制づくりの強化が必要であるという意見が寄せられている。						

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>												
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>相談員の活動内容を点検し、市内関係団体との連携・広報の充実・青少年との交流・他市町村の青少年相談員との研修等を通しての情報収拾などを実施した。</p>										
		(予算への反映) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">466 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: right;">0 千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: right;">0 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: right;">0 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)	466 千円	(人件費)	0 千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0 千円	(人件費)	0 千円	<input type="checkbox"/> 反映なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)	466 千円											
(人件費)	0 千円											
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0 千円											
(人件費)	0 千円											
<input type="checkbox"/> 反映なし												

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 公共関与の妥当性</b> 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年は、将来社会の担い手となるための重要な準備期間でもあり、心理的にも生理的にも人間形成のうで重要な時期であるため、市から地域への働きかけは必要である。
有効性 評価	<b>② 成果の向上余地</b> 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年相談員の意識は高く、市内関係団体との連携・広報の充実・青少年との交流・他市町村の青少年相談員との研修等を通しての情報の収拾など、活動内容は充実している。
有効性 評価	<b>③ 類似事業との統廃合余地</b> 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年の健全育成のために今後も青少年相談員の資質を維持し、活動を推進していかなければならない。
効率性 評価	<b>④ 事業費や人件費の削除余地</b> 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費のほとんどが、活動のための委員報酬であり、また青少年問題は、県・警察・学校・地区まちづくり委員会ほか連携する関係機関が多く、適正である。
公平性 評価	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 青少年の健全育成活動を推進するための活動であり、受益者負担金を求める事業ではない。

**3 計画の部(PPLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 青少年の健全育成のために今後も青少年相談員の資質を維持し、関係団体と連携して活動を推進していかなければならない。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○	×																		
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 青少年の健全育成のためには必要な事業である。関係者との連携強化を図り、より充実した活動が必要である。																						
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	青少年育成事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G			記入者氏名	茅根 政雄		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画対象事業	
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		2 健全育成の推進						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法	
			09	05	03	青少年育成事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			( 年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進 主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援					年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内在住の青少年						市内の青少年数(0～19歳)	人	9962.	9889.	9701.	9600.	9550.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式展の開催による青少年育成事業の推進。高校生会員の募集。						開催事業件数(大会や式典等)	件	8	7	8	7	7
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
青少年の健全育成にかかる団体が連携し、次代の担う青少年の健全育成を図る。						単位子ども会数	団体	88	87	75	75	75
						不良行為少年補導件数	件	79	80	80	80	80
						青少年団体会員数	人	2,171	2,024	1,642	1,600	1,600
						青少年団体加入率(子ども会)	%	73.0	69.0	57.0	60.0	60.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		地	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	外	財源	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	一般財源	千円	333	517	1,100	637	637	0	0	
	事業費計(A)		千円	333	517	1,100	637	637	0	0		
人件費	正	正規職員	千円	2,066	4,950	4,950	4,950	4,950	4,950	4,950	0.30人	0.97人
	正	規外職員	千円	390	390	390	390	390	390	390	0.25人	0.25人
人件費計(B)		千円	2,456	5,340	5,340	5,340	5,340	5,340	5,340	0.25人	0.25人	
投入量(A)+(B)		千円	2,789	5,857	6,440	5,977	5,977	0	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						少子化・核家族化などにより子どもを取り巻く環境が悪化し、子どもたちの自主性を育てる活動支援や子ども会の脆弱化に伴い、子ども会会員相互の親睦や情報交換並びに地域リーダーの養成を図ることが急務となった						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						・子どもたちや保護者の多様化により子ども会活動に対する考え方が変わってきている。・市民会議事業については、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加してもよい経験になったという意見も寄せられている。特に、役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしい						



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	ふるさと教室開設事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G			記入者氏名	茅根 政雄		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		2 健全育成の推進						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	03	ふるさと教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
						(開始年度 年度～)		( 年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 市内小学生4・5・6年生を対象に、異年齢・異学校の子供たちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。					【業務内容】 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
小学校4～6年生	小学校4～6年生	人	1,541	1,520	1,503	1,480	1,460
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
教室の開設	開催した教室の延べ回数	回	16	15	16	16	16
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養い、もって活力ある青少年を育てる。	教室に参加した延べ人数	人	506	519	540	540	540

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	154	567	1,067	1,067	1,067	0
事業費計(A)		千円	154	567	1,067	1,067	1,067	0
人件費	千円	6,288	6,550	6,550	6,550	6,550	6,550	
正職員	千円	0	0	0	0	0	0	
正外職員	千円	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	6,288	6,550	6,550	6,550	6,550	6,550	
投入量(A)+(B)		千円	6,442	7,117	7,617	7,617	7,617	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	子供たちが日ごろできない体験学習の場を社会教育の立場から提供することにより、社会性に飛んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	人間関係の希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下、さらには、青少年の健全育成を阻害する有害な情報の氾濫など、その社会環境は大きく変化している一方、こども集団をつくって遊ぶ機会や場所が減ってきた。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	毎年申し込む子どもも多く、カリキュラム内容について、新規要望が寄せられる。



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	各種団体補助事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課			社会教育G		記入者氏名	茅根 政雄		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		2 健全育成の推進						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	03	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			( 年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。					【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」						補助団体数	団体	2	2	2	2	2
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付						補助金総額	千円	1,152	1,070	1,070	1,070	1,070
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。						開催事業数	回	8	7	8	7	7
						青少年団体会員数	人	2,171	2,024	1,642	1,600	1,600
						青少年団体加入率(子ども会)	%	73.0	69.0	57.0	60.0	60.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,152	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	
	事業費計(A)	千円	1,152	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070
人件費	千円	930	0.00人	4,144	0.81人	4,144	0.81人	4,144	0.81人	4,144	0.81人	
正規職員	千円	390	0.25人	390	0.25人	390	0.25人	390	0.25人	390	0.25人	
正規外職員	千円	540	0.00人	3,754	0.81人	3,754	0.81人	3,754	0.81人	3,754	0.81人	
人件費計(B)	千円	1,320		4,534		4,534		4,534		4,534		
投入量(A)+(B)	千円	2,472		5,604		5,604		5,604		5,604		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		青少年育成団体が行う事業活動に対して自主性を尊重しつつ助成を行い、本市の青少年育成活動の一層の発展を図るため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		活動内容が定着化してきている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		球技大会で行うキックベースボールの代替種目の選定。										

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 保護者による子ども会育成会への支援及び青少年の健全育成全般に関わる活動を行う市民会議への支援は、市が関与するべき事項である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 各団体の構成員は、働きながら若しくは何らかの団体に属して活動をしなが、主に土日に子どもたちの健全育成のためのボランティア活動をしてきている。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 団体活動は、青少年の健全育成の大きな役割を担っているため、市として推進していかなければならない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 団体活動は、全てボランティアである。青少年健全育成のための事業に必要な経費のみを補助しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 地域住民全員が幅広く参加しての活動であるため、受益者負担を求めない事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 青少年健全育成の中心的組織として、総合企画と各種事業の展開を期待する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成26年	6月	3日
						点検日	平成26年	6月	23日
事務事業名	スポーツ推進委員設置事業					事業類型	相談・指導		
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	鈴木 教彦				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
			09	06	01	スポーツ推進委員設置事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度			
			(開始年度 昭和42年度～)			( 年度 ~ 年度)			
<b>事業概要</b>									
【全体概要】					【業務内容】				
住民のスポーツ振興のため、24名のスポーツ推進委員を設置し、実技の指導、組織の育成、行政機関及び団体の行う行事・事業に対し求めに応じて指導・助言を行う。					各種スポーツ実技研修・ニュースポーツ教室の企画運営等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移

	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民	人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
研修会(市・水戸地区・県)・研究大会(関東・全国)への参加、軽スポーツ体験教室等の企画運営・体育行事運営協力、総合型地域スポーツクラブの運営支援。	研修会等	回	6	5	4	5	5
	委員会	回	4	5	5	5	5
	体育行事	回	3	3	3	3	3
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
推進員の指導技術・知識を育成し、スポーツ指導・普及にあたらせる。	市及び体協主催事業に参加した人数	人	3,100	1,750	1,500	1,500	1,500

(2) 投入量の推移

	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	財源	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,901	1,548	1,882	1,882	1,882
事業費計(A)	千円	1,901	1,548	1,882	1,882	1,882	0
人件費	千円	1,318	1,924	1,924	1,924	1,924	
正職員	千円	1,318	1,924	1,924	1,924	1,924	
正規外職員	千円	0	180	180	180	180	
人件費計(B)	千円	1,318	2,104	2,104	2,104	2,104	
投入量(A)+(B)	千円	3,219	3,652	3,986	3,986	3,986	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	国のスポーツ振興法(昭和36年)、現在のスポーツ基本法(平成23年)に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行うため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	スポーツの多種多様化が進み、指導者が不足してきている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	スポーツ推進委員がどのような活動をし、スポーツの発展や振興に寄与しているのかわからないという市民から声がある。一方、総合型地域スポーツクラブの運営については、中核としての活動が要望されている。

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ実技研修・ニュースポーツ教室の企画運営等</li> </ul> (予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 40%;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツ離れによる運動不足を解消するためにも、スポーツ推進委員という地域に根ざす指導者を育成することは、広く市民に運動をする機会を提供することができ健康増進へとつながる。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多種多様化が進むスポーツを広く市民へ普及させ、地域スポーツ普及の中心的な存在として活躍していただくためにも、研修会等の充実を図り質を高めることで成果向上が期待できる。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。また、スポーツ推進委員はスポーツ振興法の規定に基づき設置しているものであるため、休止・廃止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) この事業は、1回/月程度の委員会活動であり他にも多数の事業を兼務しているため、人員が不足しているのでこれ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 研修会への参加は、参加負担金を徴収している。研修会により個々の指導者の指導力・資質の向上を図り指導に当たっているため公平と思われる。

**3 計画の部(PLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <span style="float: right;">※担当課長、グループ長、担当者が記載</span>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 総合型地域スポーツクラブが立ち上がり、スポーツ推進委員の役割が重要になっている。地域におけるスポーツ推進のためには、さらに新しい研修を積み重ね質・意識の向上を図っていく必要がある。																						
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <span style="float: right;">※担当部長が記載</span> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 市スポーツ振興計画の目標として掲げるスポーツ実施率の向上や、総合型地域スポーツクラブの普及によるスポーツ人口の底上げのためスポーツ推進委員のさらなる活用を図る。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	5月	30日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	スポーツ教室開設事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	藤 哲也			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
			09	06	01	スポーツ教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 昭和42年度～)			( 年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者までスポーツを楽しみながら市民の健康増進に貢献する。					【業務内容】 募集、受付、教室開講事務、契約等事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施						延べ開催数	回	823	889	933	933	933
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
スポーツに親しむ機会の少ない市民、既にスポーツを楽しんでいる市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、市民のスポー						延べ参加者数	人	17,271	16,577	27,220	27,220	27,220
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	9,137	10,590	12,402	12,402	12,402	12,402	12,402	12,402	12,402	
	一般財源	千円	5,538	5,189	4,275	4,275	4,275	4,275	4,275	4,275	4,275	
事業費計(A)		千円	14,675	15,779	16,677	16,677	16,677	16,677	16,677	16,677	16,677	
人件費	正 規 職 員	千円	1,360	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	正 規 外 職 員	千円	2,439	2,456	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	
人件費計(B)		千円	3,799	3,456	2,608	2,608	2,608	2,608	2,608	2,608	2,608	
投入量(A)+(B)		千円	18,474	19,235	19,285	19,285	19,285	19,285	19,285	19,285	19,285	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			継続して参加する方が多く教室のマンネリ化が指摘されている。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。									



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	4日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	鈴木 教彦			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
			09	06	01	学校体育施設夜間開放事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 昭和46年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体への夜間開放する。					【業務内容】 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内小中学校の体育館・武道場の開放						学校体育施設の開放校	学校	16	16	15	14	14
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。						利用団体数	団体	89	98	97	100	100
						利用者数	人	1,477	1,670	1,547	1,600	1,600
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	1,099	1,009	1,248	1,248	1,248	1,248	1,248	1,248	1,248	0
人件費	正規職員	千円	1,297	0.90人	1,462	0.27人	1,462	0.27人	1,462	0.27人	1,462	0.27人
	正規外職員	千円	0	0.00人	90	0.05人	90	0.05人	90	0.05人	90	0.05人
	人件費計(B)	千円	1,297	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	
投入量(A)+(B)		千円	2,396	2,561	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。						



評価対象年度	平成25年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成26年	6月	6日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助事業			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				
	施策名				3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える				
	基本事業名				2 生涯スポーツ活動の支援				
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
			09	06	01	団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和36年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部によって、各種大会及び関連事業を開催している。具体的には、市民総参加によるスポーツの振興事業として、地域での運動会、球技大会(ソフトボール、バレーボール等)を開催している。また、「体力増進」事業として、歩く会、健康体操等を開催している。他にも「競技力の向上」事業として、バレーボール連盟や野球連盟による各種大会を開催している。					各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂市体育協会加盟団体						加盟団体数(協会・連盟)	団体	20	18	19	19	19
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
まちづくり委員会が設立され、支部組織がなくなったが、地区対抗の球技大会を開催。スポーツ少年団、各種連盟等の競技団体において各種大会・教室を開催。						大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	23	23	23	23	23
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしよう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。						連盟登録人数	人	2,475	2,175	2,395	2,395	2,395
						少年団登録人数	人	980	870	850	850	850
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,464	6,536	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	
	事業費計(A)	千円	5,464	6,536	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	7,288	
人件費	千円	6,590	11,386	11,386	11,386	11,386	11,386	11,386	11,386	11,386	11,386	
正職員	千円	1,300	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	
正規外職員	千円	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	
人件費計(B)	千円	7,850	12,646	12,646	12,646	12,646	12,646	12,646	12,646	12,646	12,646	
投入量(A)+(B)	千円	13,314	19,182	19,934	19,934	19,934	19,934	19,934	19,934	19,934	19,934	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						合併によりさらに団体数、大会数が増大したことで、スポーツ団体の増加に伴い大会事業も増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。						



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	5日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	体育施設管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	鈴木 正寿			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	体育施設設置管理条例	
			09	06	03	体育施設管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 グラウンド(瓜連、神崎、戸多、木崎)・テニスコート(神崎)・ふれあいの杜公園(多目的広場、芝生広場、テニスコート)、瓜連体育館施設の管理事業					【業務内容】 総合公園施設以外の体育施設の維持管理及び緑化管理を行う。(ふれセンゴたいの芝の管理を含む)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
建物、グラウンド、機械	建物数	棟	5	5	4	4	4	
	機械数、グラウンド	箇所	7	7	6	6	6	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
各施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、緑化管理(除草)	除草作業	回	4	4	4	4	4	
	保守点検整備	回	3	3	3	3	3	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、市民が安全かつ快適にスポーツを楽しむことができる。	不具合発生	件	3	3	3	3	3	
	修繕件数	件	6	5	5	5	5	
	利用者数	人	40,094	41,461	41,000	41,000	41,000	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,131	1,220	1,374	1,374	1,374	0
	一般財源	千円	9,724	10,463	11,013	11,013	11,013	0
	事業費計(A)	千円	10,855	11,683	12,387	12,387	12,387	0
人件費	千円	2,675	2,480	2,480	2,480	2,480		
正規職員		0.45人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人		
正規外職員	千円	3,051	2,129	2,129	2,129	2,129		
		1.50人	1.60人	1.60人	1.60人	1.60人		
人件費計(B)	千円	5,726	4,609	4,609	4,609	4,609		
投入量(A)+(B)	千円	16,581	16,292	16,996	16,996	16,996		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	各体育施設の建設に伴い、施設管理が始まった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化により修繕箇所が増加しつつある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	各施設の整備、修理の要望がある。							



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	6日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	総合公園管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	鈴木 正寿			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
			09	06	04	総合公園管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 平成6年度～)			( 年度 ～ 年度)			
<b>事業概要</b>									
【全体概要】 スポーツの推進と健康増進のために総合公園施設を維持管理し市民に開放する。					【業務内容】 総合公園施設の維持管理、緑化管理				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、機械、グラウンド						建物数	棟	1	1	1	1	1
						グラウンド数	箇所	2	2	2	2	2
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
総合公園施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、 緑化管理(除草)						保守点検	回	19	18	20	20	20
						緑化管理等	回	5	5	5	5	5
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、 市民が安全かつ快適にスポーツを楽しむことができる。						故障	件	19	17	17	17	17
						修繕	件	39	22	33	33	33
						利用者数	人	155,050	181,705	180,000	180,000	180,000
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	11,200	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	0	0	0	
	その他	千円	8,718	10,513	9,246	9,246	9,246	9,246	0	0	0	
	一般財源	千円	119,963	119,083	145,027	145,027	145,027	145,027	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	139,881	139,096	163,773	163,773	163,773	163,773	0	0	0	
人件費	千円	6,275	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	
正規職員	人	1.10	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
正規外職員	千円	4,567	4,364	1,509	1,509	1,509	1,509	1,509	1,509	1,509	1,509	
人件費計(B)	千円	10,842	9,324	6,469	6,469	6,469	6,469	6,469	6,469	6,469	6,469	
投入量(A)+(B)		千円	150,723	148,420	170,242	170,242	170,242	170,242	170,242	170,242	170,242	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		広くスポーツの推進を図るため平成6年度に総合公園が建設されたため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		建設より約20年が経過し老朽化が進んでいるため、修繕箇所が増加しつつある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		施設利用者から、整備・修繕の要望がある。										

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>光熱水費や委託料等の削減を図った。減免団体等の見直し及び指定管理者制度導入については引き続き検討していく。</p>															
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 10%;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のスポーツ推進の拠点施設であり、市民の健康増進のためにも必要な施設である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設内の設備機器の適切な更新により修繕箇所の削減が見込まれる。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 総合公園以外の体育施設の維持管理を行う体育施設管理事業があり、統合の余地はない。また、類似事業はなく、管理運営上の安全確保等が出来なくなるので廃止することは出来ない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 指定管理者制度の導入により事業費や人件費の削減が見込まれる。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 公共施設の維持管理に対しては受益者の負担ではあるが、減免規定について全庁的な見直しを進めている。

**3 計画の部(PLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <span style="float: right;">※担当課長、グループ長、担当者が記載</span>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 光熱水費及び委託料等の削減を図る。減免団体等の見直しを行い使用料金の公平化を図り、指定管理者制度の導入を進めていく。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持		×	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持		×	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <span style="float: right;">※担当部長が記載</span> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 良好な状態で施設を利用できるよう適正な保守・管理、計画的な整備を図る。光熱水費の削減を図る。指定管理者制度導入については検討を進める。使用料については減免規定の見直しを検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	6日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	総合公園運営事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	鈴木 正寿			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
			09	06	04	総合公園運営事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度			
			(開始年度 平成6年度～)			(年度～年度)			
<b>事業概要</b>									
【全体概要】					【業務内容】				
総合公園を会場として様々なスポーツ大会が開催され、市民のスポーツ交流の場として利用されている。					公園運営のため施設の予約受付貸出しから使用料の徴収。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
総合公園利用者・市民						那珂市の人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
個人や団体へ施設の予約・貸出し・使用料金の徴収を行う。						利用者ID登録者数	人	3,477	3,626	3,700	3,800	3,900
						電話・窓口による予約率	%	86.4	85.0	84.0	83.0	82.0
						施設稼働率	%	83.6	82.5	83.0	83.0	83.0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が総合公園を使用してスポーツに親しむことにより健康になり、生きがいのなる。						施設利用者数	人	155,050	181,705	182,000	182,000	182,000
						うちプール利用者数	人	35,292	42,608	42,000	42,000	42,000
						日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	36.2	38.5	40.0	40.0	40.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	11,826	12,225	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	
	事業費計(A)	千円	11,826	12,225	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	8,901	
人件費	千円	3,400	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	
正規職員		0.50人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	
正規外職員	千円	7,217	6,440	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	
		9.00人	8.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	
人件費計(B)	千円	10,617	11,400	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	
投入量(A)+(B)	千円	22,443	23,625	17,701	17,701	17,701	17,701	17,701	17,701	17,701	17,701	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						住民の体力向上と健康増進を図るため、平成6年度にスポーツ・レクリエーションの拠点施設として、建設された。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						テニスコートの全面改修等により利用者が多少増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						立地条件は良いが、野球場・屋内温水プールとも規格に足りず公式大会が出来ない。アリーナも観客席が片側しかなく、多目的広場も陸上トラックがありソフトボール等正式競技が出来ない。						



評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	15日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	図書館管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 図書館		図書館管理G		記入者氏名	平野 玉緒			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	図書館法	
			09	05	07	図書館管理事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		( 年度 ~ 年度 )	
			(開始年度 平成17年度～)						
事業概要									
【全体概要】 図書館利用者が、図書館をより快適に利用できるよう、施設設備を適切に維持管理する。					【業務内容】 安全で快適な場所を維持するために、主な業務は施設内の維持管理・修繕の委託、事業費は光熱水費、各種設備保守点検修繕費、施設清掃管理委託費等に支出。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
図書館利用者						利用者数	人	347,565	329,775	348,000	350,000	352,000
						施設の延床面積	m <sup>2</sup>	3,609.69	3,609.69	3,609.69	3,609.69	3,609.69
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理						施設の修繕件数	件	7	14	13	12	11
						施設管理の委託件数	件	4	4	4	4	4
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。 施設に関する苦情件数については、H24,25は集計していないため、未入力。						施設に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	10,300	10,151	9,700	9,700	9,700	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	419	0	444	444	444	0
	一般財源	千円	12,392	14,326	16,744	16,744	16,744	0
	事業費計(A)	千円	23,111	24,477	26,888	26,888	26,888	0
人件費	千円	8,345	7,160	7,160	7,160	7,160		
正規職員	千円	1.60人	1.30人	1.30人	1.30人	1.30人		
正規外職員	千円	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
人件費計(B)	千円	8,345	7,160	7,160	7,160	7,160		
投入量(A)+(B)	千円	31,456	31,637	34,048	34,048	34,048		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	開館から7年経過し、また東日本大震災の影響もあり、施設の修繕箇所も増加しているとともに、近年施設への悪質ないたづらが見受けられることから館内巡回監視、監視カメラの増設が必要となった。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	より安全で快適な施設の提供が求められている。



評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	4日	
点検日	平成26年					点検日	平成26年	6月	18日	
事務事業名	図書館運営事業				事業類型	管理・運営				
担当部課G等	教育委員会 図書館		図書館管理G		記入者氏名	平野 玉緒				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				実施計画 対象事業			
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える							
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実							
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	図書館法		
			09	05	07	図書館運営事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 平成18年度～) (年度～年度)		
事業概要										
【全体概要】					【業務内容】					
「いつでも気軽に立ち寄れる図書館」を基本理念として多くの市民が図書に親しみ、生活や仕事等に役に立つ生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地として利用者が快適に利用できるように管理運営を図る。					市立図書館の運営に関する事業 主な事業は、図書館システムの保守点検、図書資料選書・購入、図書館まつり等の企画、図書館職員専門研修参加、図書館情報の提供。 事業費は、報酬、賃金、各種保守点検手数料、図書館システム賃借料、図書資料備品購入費等への支出。					
1 現状把握の部(DOシート)										
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移										
		単位		24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民				人口						
		人		55,835	55,986	55,887	55,500	55,300		
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
図書館システムの維持管理、図書資料・雑誌・新聞等の選書・購入等を行う。				開館日数						
		日		288	287	287	287	287		
				購入資料数						
		冊		9,070	8,535	7,000	7,500	8,000		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの市民に快適に利用してもらうように図書館の管理運営を行い、市民に自学自習の場を提供するとともに生涯学習への意識向上を図る。				来館者数						
		人		347,565	329,775	332,000	334,000	336,000		
				貸出資料数						
		冊		522,876	490,795	500,000	510,000	525,000		
				一人当たりの貸出資料数						
		冊		9.36	8.77	8.95	9.20	9.50		
(2) 投入量の推移										
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画		
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	財源支出金	千円	14,946	15,000	15,000	15,000	15,000	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	3	3	3	3	3	0		
	一般財源	千円	51,239	55,566	57,091	57,091	57,091	0		
	事業費計(A)	千円	66,188	70,569	72,094	72,094	72,094	0		
人件費	千円	9,190	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660		
正規職員	千円	17,161	18,036	18,036	18,036	18,036	18,036	18,036		
正規外職員	千円	26,351	23,696	23,696	23,696	23,696	23,696	23,696		
人件費計(B)	千円	92,539	94,265	95,790	95,790	95,790	95,790	95,790		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			那珂市立図書館の開館に伴う事業							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			平成18年10月に開館し、図書資料の充実に比例して貸出し数が上昇するとともに、市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設になっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			図書資料の充実に望む意見や来館者を増加させる取り組みの要望が寄せられている。							

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>														
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>らぼーる図書室に、図書館資料を返却できるように、返却窓口を平成26年度から設置することにした。</p> <p>図書館資料の選定については、図書館資料選定委員会および選書委員会を平成26年度から設置できるよう準備を進めた。</p>												
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 20%;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)												
(人件費)	0	千円)												
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)												
(人件費)	0	千円)												

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育施設として一定の水準を保つ必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 積極的に図書館から情報を発信(資料提供)することにより向上が図られる。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 総合センターらぼーる図書室との連携については、将来のあり方、費用対効果を検証しつつ改善すべきは改善する必要がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 正職員は総務的業務が主であり、すでに専門的な図書館のカウンター業務、図書館資料の選定は12名の嘱託職員が業務を賅っているため人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 図書館の利用条件は無料原則に基づき利用者全てに公平であることから、受益の機会、費用の負担は適正である。

**3 計画の部(PLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 }  <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</li> </ul>	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) らぼーる図書室については、将来のあり方を検討し、平成26年度中に方向性を決定する。 選書の透明性を図るため、図書館資料選定・選書委員会を設置し、収集方針に沿った資料の充実を図る。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul> 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 図書館システムの契約更新時にはシステム内容を精査し、再リリース等により運営経費の削減を図るが、生体認証システムは、利用状況や利便性を考慮し継続する。計画的な図書整備を図る。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	公民館施設管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館グループ		記入者氏名	南波 三千代			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法第24条、那珂市公民館の設置及	
			09	05	02	公民館施設管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 昭和59年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】 公民館施設及び設備の維持管理を行う					【業務内容】 施設設備の修繕及び施設管理 各種設備保守点検及び施設清掃等の業務委託 機器賃借及び敷地借上				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
中央公民館施設及び各種設備	点検・検査・修繕の実施箇所数	件	10	28	20	20	20
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設維持管理業務。各設備点検及び修繕を行った。	点検・検査・修繕の箇所数	件	10	28	20	20	20
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保つ。	点検・検査の実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	苦情件数	件	2	2	0	0	0
	利用者数	人	88,206	89,635	90,000	90,000	90,000

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源内 県支出金	千円	2,500	2,000	2,000	2,000	2,000	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	7,261	0	0	0	0
	一般財源	千円	17,868	14,320	28,399	41,731	20,511	0
事業費計(A)		千円	20,368	23,581	30,399	43,731	22,511	0
人件費	正 規 職 員	千円	3,500	6,400	6,400	6,400	6,400	
	正 規 外 職 員	千円	701	701	701	701	701	
人件費計(B)		千円	4,201	7,101	7,101	7,101	7,101	
投入量(A)+(B)		千円	24,569	30,682	37,500	50,832	29,612	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、利用者から「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 前年度、集会ホールの音響について苦情があったが、修繕し改善された。その他限られた予算の中で13ヶ所の修繕を行った。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき市が設置した公共施設である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要に応じて修理・修繕し、利用者が安心して使える施設管理をする。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化が進んでおり、安全に利用してもらうために定期的な点検、修繕は不可欠である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の修繕や修理で対応している。 職員2名、嘱託職員、臨時職員のシフト勤務に余裕はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公民館施設の使用料及び減免規定等については、他の公共施設の使用料との均衡など検討が必要である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化が進む中での維持管理であり、コスト削減等は望めない状況である。 公民館施設の使用料及び減免規定については見直す必要があると思われる。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	⊗	低下		⊗	⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	⊗																				
	低下		⊗	⊗																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 良好な状態で施設を利用できるよう適正な保守・管理、計画的な整備を図る。また、設備の省エネ化も含め節電の強化を図る。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日					
事務事業名	学級講座開設事業			事業類型	イベント・行事・各種講座教室等									
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館グループ		記入者氏名	南波 三千代								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり			<input type="checkbox"/> 実施計画 対象事業								
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える											
基本事業名		2 生涯学習活動の支援												
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	学級講座開設事業		根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和59年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)								
<b>事業概要</b>														
【全体概要】 当事業では、生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつり中には、短期教室や映画会の開催もあわせて行っている。年度末に、学級の記録誌を発行している。						【業務内容】 ・学級講座の開設・公民館まつりの開催・映画会の開催・記録誌「ふれあい文集」発行								
1 現状把握の部(DOシート)														
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移														
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)			
④対象指標(対象の大きさを表す指標)						市内在住及び在勤者(高校生以下は除く)から希望する者	人	688	566	600	600	600		
						映画会来場者数	人	70	150	200	200	200		
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	募集要項各戸配布及びお知らせ版、那珂市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催した。年度末に「ふれあい」文集を発行した。	講座数	講座	14	17	15	15	15
						全教室の延べ開催回数	回	160	182	170	170	170		
						公民館まつり体験教室数	教室	13	12	10	10	10		
						映画会開催数	回	1	1	1	1	1		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)	生涯学習へ取り組む意欲を向上させる。	受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	88.0	99.0	95.0	95.0	95.0
							自主教室となった割合	%	10.0	25.0	20.0	20.0	20.0	
(2)投入量の推移														
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	1,045	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055		
	一般財源	千円	799	727	1,405	1,322	1,322	1,322	1,322	1,322	1,322	1,322		
	事業費計(A)	千円	1,844	1,782	2,460	2,377	2,377	2,377	2,377	2,377	2,377	2,377		
人件費	正規職員	千円	1,400	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560		
	正規外職員	千円	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980		
	人件費計(B)	千円	4,380	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540		
	投入量(A)+(B)	千円	6,224	7,322	8,000	7,917	7,917	7,917	7,917	7,917	7,917	7,917		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等														
①事業を始めたきっかけ						社会教育法の公民館が行う事業として、「定期講座を開設すること」に端を発する。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) アンケート調査結果や前年の状況から開設講座を設定した。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民に生涯学習の場を提供し、絆づくりと活力あるコミュニティの形成を図る。
有効性評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多くの市民が受講希望するような企画立案 受講生同志が自主教室を立ち上げるにより更なる生涯学習の推進を図る
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法により、定期講座は公民館の行う事業として定められている。 民間の教室とは異なり営利を目的とせず、生涯学習のきっかけづくりとして事業を実施している。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 学級講座の事業費は、講師謝礼や運営のための費用であり、削減は困難である。 必要最小限の人件費となっており、これ以上の削減は困難である。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 学級講座の講師料は受講料で賄っている。教材費は別途受講生の負担となっており、公平かつ公正である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 単なる趣味に終わらせない工夫→生涯学習の推進へどうつなげるか。 地域との連携・協働の推進	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) より多くの市民に参加してもらい、生涯学習に取り組む市民の増加が図れるよう、市民のニーズや社会環境に対応した講座の開設・工夫が必要である。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	11日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名	坪 明美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
			09	05	04	歴史民俗資料館管理事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 平成17年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】 歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・民俗資料の保存管理を適切に行い、開館予定日数を休まず開館する。					【業務内容】 各種設備の保守点検、資料燻蒸及び動産保険への加入				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
歴史民俗資料館設備、資料	開館予定日数	日	303	302	302	302	302	
	文化財資料数	点	1,320	1,320	1,330	1,330	1,330	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・民俗資料の保存管理を適切に行なう。	燻蒸回数	回	1	1	1	1	1	
	空調保守点検回数	回	1	1	1	1	1	
	消防設備保守点検回数	回	1	1	1	1	1	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料をださない。	開館日数	日	303	302	302	302	302	
	破棄資料数	点	0	0	0	0	0	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,012	2,019	2,300	2,300	2,300	0
	事業費計(A)	千円	2,012	2,019	2,300	2,300	2,300	0
人件費	正規職員	千円	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	0.30人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	0.30人
投入量(A)+(B)		千円	3,092	3,099	3,380	3,380	3,380	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように適切に施設と資料を維持・保存管理していく。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実を努めてほしい。						



評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名	坏 明美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
			09	05	04	歴史民俗資料館運営事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) ( 年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
歴史民俗資料館の運営を適正におこない、来館者数の増加を図り、郷土の歴史と文化財に対する市民の理解を深める。					民俗資料・文化財資料の収集、保存を行う。常設展・特別展の開催。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
全市民		市民	人	55,835	55,986	55,887	55,800	55,800
		文化財史資料	点	1,320	1,320	1,330	1,330	1,330
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕		開館日数	日	303	302	302	302	302
		常設展の資料点数	件	170	170	170	170	170
		年間資料収集数	件	25	28	30	30	30
				0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらおう。		入館者数	人	16,154	17,281	17,500	18,000	18,500
		文化財指定等数	件	84	84	84	85	85
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,334	7,948	8,697	8,697	8,697	8,697
	事業費計(A)	千円	7,334	7,948	8,697	8,697	8,697	8,697
人件費	千円	2,850	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
正規職員	千円	840	840	840	840	840	840	
		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
正規外職員	千円	840	840	840	840	840	840	
		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
人件費計(B)	千円	3,690	4,140	4,140	4,140	4,140	4,140	
投入量(A)+(B)	千円	11,024	12,088	12,837	12,837	12,837	12,837	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように資料を収集・管理していく。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。						

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>																		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円														
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしていただき、貴重な歴史遺産と活用する施策に結びつく事業であり、市以外では考えにくい。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館の存在をより多くPRしたり、社会科授業の一環として、学校へ働きかけたりさらなる利用者の増を図れる余地がある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館は、市内で唯一の歴史資料・民俗資料を展示しているところであり、他の事業では考えられない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館運営のほか、文化財保護、市史編纂、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低減の人数で対応しているため、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 事業の趣旨、事業の規模から、受益者負担を求めるものではない。

**3 計画の部(PLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
<b>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)</b> 同規模の近隣市町村の歴史民俗資料館と比較すると、来館者数は極めて多いが今後もさらなる来館者の増を図れるよう努力する。	<b>改革・改善による期待成果</b> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) <b>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入)</b> 案内板の設置や市のホームページの活用マスコミ等への積極的なPRを行い、さらなる入場者の増に努める。また、市内の文化財や古文書等の収集及び適正な保存管理、展示に努める。																						
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	13日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	特別展開催事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G			記入者氏名	中嶋 圭子		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		2 伝統文化の活用と伝承						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
			09	05	04	特別展開催事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 平成7年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。					・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市民	那珂市の人口	人	55,835	55,986	55,887	55,800	55,800
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・特別企画展 那珂市先住民の遺産展 静織の里とその周辺展	企画展等催し物開催回数	回	8	5	5	5	5
・季節展 正月飾り展、雛人形展	講演会実施回数	回	7	7	7	7	7
・特別公開 額田城に届いた伊達政宗の密書展							
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。	入館者数	人	16,154	17,281	17,500	18,000	18,500
	歴史資産・伝統文化を大切に思っている人の割合	%	91.91	93.27	94.63	95.00	95.00

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	769	814	902	913	913	0
	事業費計(A)	千円	769	814	902	913	913	0
人件費	千円	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250		
正規職員	千円	0	0	0	0	0		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250		
投入量(A)+(B)	千円	5,019	5,064	5,152	5,163	5,163		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が増加している。・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さや案内看板の不備を指摘する声が多く寄せられている。



評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	11日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	文化財保護対策事業					事業類型	委員会・審議会等		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名	坏 明美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市文化財保護条例及び文化財保護条例	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) ( 年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。					【業務内容】 ・文化財保護審議会開催・資史料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
文化財、民俗資料 市民				保護すべき文化財、資史料数		点	1,320	1,320	1,330	1,330	1,330
				那珂市の人口		人	55,835	55,986	55,887	55,800	55,800
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究				文化財保護審査会の開催 日数		回	1	1	1	1	1
				発掘・試掘調査件数		件	6	7	6	6	6
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
文化財としての資史料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。				文化財指定数		件	84	84	84	84	84
				指定文化財を知っている人の割合		%	61.52	60.98	61.00	61.00	61.00
				歴史資産・伝統文化を大切に思っている人の割合		%	91.91	93.27	94.63	95.00	95.00

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	427	474	4,650	4,650	4,650	0	
	事業費計(A)	千円	427	474	4,650	4,650	4,650	0	
人件費	千円	1,600	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0	
正規職員	千円	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0	
正規外職員	千円	860	860	860	860	860	860	0	
人件費計(B)	千円	2,460	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660	0	
投入量(A)+(B)		千円	2,887	3,134	7,310	7,310	7,310	0	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	身近にある文化財への関心が高まっており、埋蔵文化財の保護について理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 関係各課の開発情報等を常に把握し、文化財の適正な維持保存を図りました。平成24年度より文化財専門員を配置している。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な文化財の保護は、市が行う義務的業務である。先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 埋蔵文化財専門員を配置したことにより、埋蔵文化財の迅速・的確な保護活用が図られるため、これ以上の余地はない。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、廃止・休止については貴重な財産である文化遺産・文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化の維持管理に支障をきたすことになる。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財の保護及び普及啓発費用であるため削減できない。文化財の内容等にもよるが、保護には特殊技術を要することから、多くの経費を必要とする。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 受益者はすべての人であり、市が負担することが適当と思われる。

**3 計画の部(PLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
<b>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)</b> 那珂市内に多くの文化財が存在し、今後も適正な保護・保存、活用が必要である。	<b>改革・改善による期待成果</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	⊗	低下		⊗	⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	⊗																				
	低下		⊗	⊗																				
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 文化的価値の高い文化財について、保護・保存・活用が必要である。文化財の適正な維持保存を図るために、文化財指定や包蔵地に対する開発関係の情報等の把握に努める。																								
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b>																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b>																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	額田城跡整備事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民像G		記入者氏名	坏 明美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市文化財保護条例及び文化財保護法	
			09	05	05	額田城跡整備事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			( 年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化につながるよう年次計画に基づき管理する。額田城跡の維持・保存に努める。					額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間財等				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
額田城跡、市民、市外来訪者						市民	人	55,835	55,986	55,700	55,800	55,800
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等						年間整備活動日数	回	35	37	37	40	40
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。						整備活動人数	人	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050
						歴史遺産・伝統文化を大切だと思っている人の割合	%	91.91	93.27	94.63	95.00	95.00
(2)投入量の推移												
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	財源支出金	千円	14,972	5,000	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	4,043	1,931	1,000	1,000	1,000	1,000				
事業費計(A)		千円	19,015	6,931	1,000	1,000	1,000	1,000				
人件費	正規職員	千円	5,280	1,980	1,980	1,980	1,980	0.30人	1,980	0.30人		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	5,280	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980				
投入量(A)+(B)		千円	24,295	8,911	2,980	2,980	2,980	2,980				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。									

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 平成25年度も茨城県身近なみどり整備推進事業の補助金を受け、残部分の伐採や遊歩道の整備を行った。  (予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費 6,931 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な文化遺産である額田城跡の整備・維持管理は公共性が高く、後世に伝えていくことは市としての責務である。
有効性評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 額田城跡を歴史的な自然公園として、また、一部公有化し学術調査をすることにより、正確に保存・活用することができる。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、貴重な文化財保護のため廃止すべきではない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 土地代は無償借地、管理は地元ボランティアの尽力を受け、現在、最低限の事業費及び人件費で行っている。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 事業の性質上、受益者負担を求めないものではない。

**3 計画の部(PLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 今まで伐採や遊歩道の整備を行ってきた。今後も市民と行政の協働による保存管理を行っていく。本丸部分については、公有化し学術調査を行っていきたい。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			⊗	低下			⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			⊗																				
	低下			⊗																				
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 保護・保存を適正に行い、地元の保存会や地域と市が協働により保存管理する。また、歴史的・観光資源として活用できるよう整備を進めることを検討する必要がある。																								
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b>																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b>																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	市史編さん事務費					事業類型	委員会・審議会等		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G			記入者氏名	坏 明美		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び 専門委員設置	
			09	05	06	市史編さん事務費			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) (年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
戦後67年が経過し歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。					貴重な遺跡等の文化財を広く市民に公開する。「那珂市の社寺祠堂」を刊行した。毘遮那寺「大般若経」600巻を解説・記録・保存する。				
1 現状把握の部(DOシート)									

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・全市民・市外訪問者・郷土史研究者等・長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料	那珂市の人口	人	55,835	55,986	55,887	55,800	55,800
	考古及び史・資料	点	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。	市史編さん委員会開催回数	回	5	6	6	6	6
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録し残す。	調査・解説考古・史・資料数	点	3,300	3,350	3,400	3,400	3,400
	市史等頒布数	冊	84	84	84	84	84
	歴史資産伝統文化を大切にしている人の割合	%	91.91	93.27	94.63	95.00	95.00

(2)投入量の推移	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	52	52	52	52	52
	一般財源	千円	1,635	1,382	1,432	1,432	1,432
	事業費計(A)	千円	1,687	1,434	1,484	1,484	1,484
人件費	千円	1,580	1,620	1,620	1,620	1,620	
正規職員		0.26人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
正規外職員	千円	989	989	989	989	989	
		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	
人件費計(B)	千円	2,569	2,609	2,609	2,609	2,609	
投入量(A)+(B)	千円	4,256	4,043	4,093	4,093	4,093	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。

<b>(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>										
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 平成25年度に発行した「那珂市の石仏石塔」を刊行し、市内に残せる貴重な古文書を解読し後世に残せるようにした。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; text-align: center;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; text-align: center;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	0	千円	(人件費)	0
0	千円									
(人件費)	0									
0	千円									
(人件費)	0									

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 過去から積み上げられてきた郷土の歴史を明らかにし、記録保存することは、過去から未来にむけて指針とすべきものであり、自治体等の役割である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史資料を整理・保存し、市民が関心をもつような内容を提供することで、歴史についての興味を高める。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。過去の資料を解読して明らかにする作業は、膨大な時間を要するが、廃止すると消失しかねず、廃止休止すべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 資料の整理・解読作業は、人的作業であり多くの時間を必要とするため、省力化は不可能である。また、編さんにかかる経費は、委員報酬が大部分であり、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 発行にかかる経費は、希望者への頒布により受益者負担をお願いしている。

**3 計画の部(PLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <span style="float: right;">※担当課長、グループ長、担当者が記載</span>																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 平成25年度は「那珂市の石仏石塔一瓜連地域編一」を刊行し、市民にホームページや広報による周知を行い、多くの市民に知ってもらえるようにした。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <span style="float: right;">※担当部長が記載</span> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 市史関連資料、人物を分かりやすく紹介、周知することにより、歴史観と郷土愛を高揚する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成25年度		<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成26年	6月	13日
						点検日	平成26年	7月	15日
事務事業名	城館跡調査事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G			記入者氏名	坪 明美		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			09	05	05	城館跡調査事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			( 年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
那珂市城館跡調査事業を行い、重要な文化財を後世に継承する。					市内に点在する城館跡は多いが、まず破壊される確率の高い菅谷地区の城館跡を踏査し、記録に残す。				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内の城館跡数						市内の城館跡数	件	0	33	33	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
菅谷地区の城館跡を踏査し、記録に残す。						調査した件数	件	0	0	6	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
開発等で破壊される前にすべての城館跡を調査・記録する。						記録として保存した数	件	0	0	6	0	0
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	762	4,575	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0				
	事業費計(A)	千円	0	762	4,575	0	0	0				
人件費	千円	0	0.00人	360	0.10人	1,800	0.50人	0	0.00人	0	0.00人	
正規職員	千円	0	0.00人	545	2.00人	2,899	2.00人	0	0.00人	0	0.00人	
正規外職員	千円	0	0.00人	905	4,699	0	0	0				
人件費計(B)	千円	0	905	4,699	0	0	0					
投入量(A)+(B)	千円	0	1,667	9,274	0	0	0					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			これまで開発されずに平地林となっていることから城館跡が保存されてきました。しかし、近年は開発がその地域にまで及びつつあるので、現況を調査する。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			住宅地と開発が進行する前にこれら城館の縄張り図を作成して往時の姿および一端を残していくこととした。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			貴重な歴史遺産を開発される前に調査・記録すべきとの声がある。									

